

重度障害者の短期入所開始
利根、龍ヶ崎の老健施設（茨城県）

介護老人保健施設の空きベッドを活用した在宅重症心身障害者の短期入所（ショートステイ）事業が7月から、利根町もえぎ野台の「もえぎ野」と、龍ヶ崎市若柴町の「けやきの郷」の2か所で始まる。

病院併設などの医療型短期入所は現在、水戸市の「県立あすなろの郷」のほか、高萩、古河、東海4市村の5カ所しかないことから、県南地域の利用者は、片道2時間かけて水戸近辺の施設を利用していたという。老健施設が利用できることで、障害者や

家族の負担軽減を図ることができる。

入所開始は「もえぎ野」が7月1日から、「けやきの郷」は7月以降という。空きベッド数は現在、それぞれ4床と3床の計7床ある。対象となる18歳以上の重度障害者は現在、龍ヶ崎、取手、牛久、稲敷、守谷、利根の6市町で計49人。利用できるのは1か月当たり7～8日。利用料は無料だが、食事代や寝具代として1日2,000円必要という。

（常陽新聞・土浦 2011年6月29日）

「ノーマライゼーション・障害者の福祉」2011年7月号 特集目次

大特集・東日本大震災～被災障害者の実態と新生への提言～

課題は「生活機能」低下「予防」―被災者とコミュニティの「自立」に向けて（大川弥生）
＜座談会＞

東日本大震災～被災障害者の実態と新生への提言～（伊藤あづさ・白石清春・久松三二・増田一世・＜司会＞藤井克徳）

＜被災状況・被災者支援＞

東日本大震災と障害当事者団体（阿部一彦）
三陸海岸沿岸市町村の被害と支援活動（久保田博）
視覚障害者への支援の取り組み（三浦久幸）
東日本大震災、ALS療養者に何をなすべきだったのか（橋本みさお）
ライフラインと医療 人工透析患者の災害対策～東日本大震災の経験から（俣野公利）
「障害児、知的障害・発達障害者関係団体災害対策連絡協議会」による宮城県対策本部立ち上

げの支援（田中正博）

南相馬市における日本精神保健福祉士協会の支援活動（青戸 忍）

ゆめ風基金―これまでの災害支援を活かして（八幡隆司）

緊急支援と障害者・高齢者～難民を助ける会の支援活動の経験から（野際紗綾子）

＜復興・新生への提言＞

陸前高田市の再生・復興計画―市民参加を基本に（戸羽 太）

岩手県大槌町民の健康状況把握のための訪問調査をとおして（鈴木るり子）

見えない明日、見えない未来（古川 敬）

障害者・高齢者対策の避難とまちづくりに関する提言（秋山哲男）

障害福祉制度の再構築（由岐 透）

生きとし生けるものとの共存のみち（中澤正夫）